

学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.80

三穂地区の魅力と つながり

豊橋技術科学大学 建築都市システム学課程 4年

あきやま かずき
秋山 千記（香港出身）

私たちは、三穂地区伊豆木にある「お下屋敷」と呼ばれる古民家の活用に向けた提案に取り組みました。その内容は、敷地の特性だけではなく建物の細部までを測定することで、その結果と昔の文献などから使われ方などを分析し、新たな使い方の提案をするというものでした。私たちはリノベーションでゲストハウスとして利用できるプランを考えました。これは、伊豆木小笠原氏が住んでいた住宅に宿泊し殿様の暮らしを知ったり、宿泊しない利用方法では、会合や話し合い、イベントを通じて地域のコミュニティの交流促進を図ったりできるという考えです。

現在では週に1回程度地域の方々が利用されているということもあり、今後増えていくさまざまな利用方法のうちの一つになればいいと思っています。三穂地区は私が住んでいたマンション街とは大きく違い、自然豊かでのどかな土地なので、それらを武家屋敷の殿様の寝室から眺めることができるというのはこの地域の大きな魅力の一つだと感じました。



地区住民などへの成果報告会の様子